



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 丸野 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 森 和彦 財務・経理担当 管理部長 TEL 053-452-2141
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	55,163	17.3	15,507	38.6	15,697	35.8	11,320	31.7
2022年9月期第1四半期	47,028	29.1	11,185	115.7	11,561	130.1	8,596	118.6

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 7,996百万円 (△16.7%) 2022年9月期第1四半期 9,600百万円 (140.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	73.11	—
2022年9月期第1四半期	55.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	370,588	283,695	76.2
2022年9月期	366,177	281,904	76.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 282,304百万円 2022年9月期 280,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	32.00	—	40.00	72.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	38.00	—	38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	115,300	14.7	30,200	7.5	30,500	6.5	22,200	4.0	143.38
通期	236,200	13.1	58,500	2.7	59,200	0.5	42,400	2.7	273.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年9月期1Q	165,052,729株	2022年9月期	165,052,729株
2023年9月期1Q	10,214,410株	2022年9月期	10,214,389株
2023年9月期1Q	154,838,326株	2022年9月期1Q	154,827,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、一部で企業収益や設備投資に持ち直しの動きがみられたものの、部材の調達難やウクライナ情勢等による原材料価格の高騰、為替の不安定な推移など不安要素は依然として解消されておらず、海外経済においても金融引き締めや中国におけるゼロコロナ政策により先進国を中心に景気減速の動きがみられるなど、引続き先行き不透明な状況のなかで推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、引続き新型コロナウイルスの感染防止策を講じたうえで、持続可能な社会への貢献も念頭に、市場要求に対応した製品開発や当社独自の光技術を活かした研究開発を推進することで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は55,163百万円と前年同期に比べ8,135百万円（17.3%）の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は15,507百万円と前年同期に比べ4,322百万円（38.6%）の増加、経常利益は15,697百万円と前年同期に比べ4,136百万円（35.8%）の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は11,320百万円と前年同期に比べ2,723百万円（31.7%）の増加となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[電子管事業]

光電子増倍管、イメージ機器及び光源は、シリコンウエハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジン等の売上げが減少したほか、高エネルギー物理学実験等の学術向けの売上げも減少したものの、産業分野におきまして非破壊検査装置向けのマイクロフォーカスX線源の売上げが増加したほか、半導体製造・検査装置向けの光源の売上げも増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は21,497百万円（前年同期比14.7%増）、営業利益は9,038百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

[光半導体事業]

光半導体素子は、産業分野におきまして、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサ等の売上げが増加いたしました。また、医用分野におきまして、X線CT向けのシリコンフォトダイオードの売上げが、国内外における継続的な需要の高まりを受けて増加したほか、歯科用のフラットパネルセンサの売上げもアジアを中心に増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は24,844百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は9,312百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

[画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、サーバーや車載用基盤の検査向けのX線TDIカメラの売上げが増加いたしました。また、半導体故障解析装置も国内及びアジアを中心に売上げが増加いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は7,276百万円（前年同期比55.1%増）、営業利益は2,259百万円（前年同期比181.6%増）となりました。

[その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント（その他）の売上高は1,544百万円（前年同期比25.3%増）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益211百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、棚卸資産が7,818百万円増加したものの、現金及び預金が5,578百万円、未収入金（流動資産その他）が3,612百万円それぞれ減少したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ649百万円減少しております。

固定資産の主な変動は、建設仮勘定が6,363百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ5,060百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,411百万円増加し、370,588百万円となりました。

流動負債の主な変動は、支払手形及び買掛金が3,628百万円増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,226百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、為替予約（固定負債その他）が518百万円増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ394百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,620百万円増加し、86,893百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が3,465百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が5,115百万円増加したことなどから、当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,790百万円増加し、283,695百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル＝130円、1ユーロ＝135円、1中国元＝19円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,999	120,421
受取手形及び売掛金	49,751	51,117
有価証券	2,316	2,123
商品及び製品	11,458	13,763
仕掛品	31,920	35,994
原材料及び貯蔵品	15,698	17,137
その他	9,120	5,054
貸倒引当金	△227	△223
流動資産合計	246,038	245,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,925	46,833
機械装置及び運搬具（純額）	11,958	11,502
工具、器具及び備品（純額）	5,345	5,528
土地	17,516	17,490
リース資産（純額）	243	218
使用権資産（純額）	743	712
建設仮勘定	11,466	17,830
有形固定資産合計	95,200	100,115
無形固定資産		
顧客関連資産	1,873	1,631
その他	3,486	3,264
無形固定資産合計	5,359	4,895
投資その他の資産		
投資有価証券	3,711	3,953
繰延税金資産	12,913	13,237
その他	2,973	3,017
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	19,579	20,188
固定資産合計	120,139	125,200
資産合計	366,177	370,588

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,129	11,758
電子記録債務	9,253	10,259
短期借入金	4,799	4,899
1年内返済予定の長期借入金	2,098	2,096
未払法人税等	11,350	5,403
賞与引当金	7,926	2,551
その他	25,964	34,778
流動負債合計	69,522	71,748
固定負債		
長期借入金	4,630	4,606
退職給付に係る負債	8,363	8,305
その他	1,757	2,233
固定負債合計	14,751	15,145
負債合計	84,273	86,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,048	35,048
資本剰余金	34,792	34,792
利益剰余金	217,195	222,311
自己株式	△20,798	△20,798
株主資本合計	266,239	271,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	921	1,008
繰延ヘッジ損益	△274	△309
為替換算調整勘定	15,344	11,878
退職給付に係る調整累計額	△1,666	△1,627
その他の包括利益累計額合計	14,324	10,949
非支配株主持分	1,340	1,390
純資産合計	281,904	283,695
負債純資産合計	366,177	370,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	47,028	55,163
売上原価	22,572	24,541
売上総利益	24,456	30,622
販売費及び一般管理費	13,270	15,115
営業利益	11,185	15,507
営業外収益		
受取利息	13	136
為替差益	14	—
持分法による投資利益	221	126
作業くず売却益	40	119
その他	148	150
営業外収益合計	439	533
営業外費用		
支払利息	16	32
為替差損	—	273
その他	46	37
営業外費用合計	63	343
経常利益	11,561	15,697
特別利益		
固定資産売却益	8	14
補助金収入	—	53
特別利益合計	8	68
特別損失		
固定資産除却損	49	199
固定資産圧縮損	—	45
投資有価証券評価損	—	35
特別損失合計	49	280
税金等調整前四半期純利益	11,519	15,485
法人税等	2,909	4,130
四半期純利益	8,610	11,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,596	11,320

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	8,610	11,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	87
繰延ヘッジ損益	—	△35
為替換算調整勘定	1,064	△3,488
退職給付に係る調整額	2	38
持分法適用会社に対する持分相当額	5	40
その他の包括利益合計	989	△3,358
四半期包括利益	9,600	7,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,572	7,945
非支配株主に係る四半期包括利益	27	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について重要な変更はありません。

(ロシア・ウクライナ情勢の影響について)

ロシア・ウクライナ情勢については、経済制裁や各国規制に基づく営業活動への影響及び資源価格の高騰による影響が懸念されますが、当社グループの業績及び財政状態に与える影響は会計上の見積りも含めいずれも軽微と見込んでおります。

（取得による企業結合）

当社は、2022年6月9日開催の取締役会決議に基づき、連結子会社であるホトニクス・マネージメント・ヨーロッパ・エス・アール・エルが、NKT Photonics A/Sの全株式を取得し子会社化（当社の孫会社化）するための株式譲渡契約を2022年6月24日付けで締結いたしました。ホトニクス・マネージメント・ヨーロッパ・エス・アール・エルは、当該契約に基づき、2023年3月31日を株式譲渡実行日として、NKT Photonics A/Sの全株式の取得を予定しております。

1 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 NKT Photonics A/S
事業の内容 レーザ装置、レーザ装置部品の開発、製造、販売

（2）企業結合を行う主な理由

NKT Photonics A/Sは超短パルスレーザ増幅用、ファイバー転送用の独自のフォトニック結晶ファイバー製造技術を持つファイバーレーザメーカーであります。一方、当社は化合物半導体製造技術をベースとしたレーザダイオード事業を得意とし、ファイバーレーザを得意とするNKT Photonics A/Sとは相補的な関係となります。

当社は、当社並びにNKT Photonics A/Sが培ってきた知見、ノウハウ、経営資源の共有及び連携により、レーザ事業の更なる市場拡充が図れると判断し、NKT Photonics A/Sの株式を取得することといたしました。

（3）企業結合日

2023年3月31日（予定）

（4）企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

（5）取得する議決権比率

100%

（6）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるホトニクス・マネージメント・ヨーロッパ・エス・アール・エルが現金を対価として株式を取得することによります。

2 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	約226百万ユーロ（32,000百万円）	（予定）
取得原価		約226百万ユーロ（32,000百万円）	（予定）

為替レートは、1ユーロ＝141.47円（株式会社三菱UFJ銀行が公表する2022年12月31日における最終の対顧客電信為替相場の仲値）を前提としております。

取得原価は、株式取得の対価に加え、ネット有利子負債の額を含んでおります。また、株式譲渡契約に定める価格調整を実施した金額となる予定であります。

3 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等（概算額） 730百万円

4 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

6 買収資金

本件買収の為の資金は、自己資金及び銀行からの借入金を充当する予定であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
日本	4,706	6,130	889	11,726	299	12,026	—	12,026
北米	4,945	5,775	1,519	12,241	72	12,314	—	12,314
欧州	3,751	5,378	1,164	10,295	110	10,405	—	10,405
アジア	5,268	5,073	1,107	11,450	750	12,201	—	12,201
その他	65	6	9	80	—	80	—	80
顧客との契約から 生じる収益	18,737	22,365	4,691	45,795	1,233	47,028	—	47,028
外部顧客への売上 高	18,737	22,365	4,691	45,795	1,233	47,028	—	47,028
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	404	274	0	679	429	1,109	△1,109	—
計	19,142	22,640	4,692	46,474	1,662	48,137	△1,109	47,028
セグメント利益	7,235	7,884	802	15,922	211	16,133	△4,948	11,185

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,948百万円には、セグメント間取引消去△479百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,469百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
日本	4,449	6,607	1,750	12,806	221	13,028	—	13,028
北米	6,159	6,562	1,165	13,887	51	13,939	—	13,939
欧州	4,305	5,675	1,513	11,495	238	11,733	—	11,733
アジア	6,539	5,988	2,843	15,371	1,032	16,404	—	16,404
その他	43	10	3	57	—	57	—	57
顧客との契約から 生じる収益	21,497	24,844	7,276	53,618	1,544	55,163	—	55,163
外部顧客への売上 高	21,497	24,844	7,276	53,618	1,544	55,163	—	55,163
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	386	379	1	766	367	1,134	△1,134	—
計	21,883	25,223	7,277	54,385	1,912	56,298	△1,134	55,163
セグメント利益	9,038	9,312	2,259	20,610	△4	20,606	△5,098	15,507

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の(株)磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△5,098百万円には、セグメント間取引消去△470百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。